

## 岡山県立瀬戸高等学校

地域課題から世界課題へSDGsで考える 最先端のキャリア教育

# 新しい時代に必要な力をつける

「セト☆ラボ」「S☆ラボ」と「6つの力」

### 取組等の概要



「見つけた地域の課題から請願書を考える。チームで対話的に学ぶと楽しい」



「地域の方との交流会で、地域は自分達で変えることができるのでは、と感じた」



「備前市の観光に提案。ストーリーを考えることにやりがいを感じた」

#### ○取組の目標

社会に開かれた教育課程で、グローバルな視点を持ち、地域社会に貢献する生徒、卒業後も向上心を持って学び続ける生徒を育成しています。

#### ○取組の特徴

- 1 地域振興関係者や地元産業界の方と連携
- 2 岡山大学（SDGs）と連携
- 3 瀬戸高で付けたい6つの力の推進

#### ○取組の概要

- ・課題研究「セト☆ラボ」（1年）・・・地域課題を知り探究する  
講演会、地域振興関係者や地元の産業界の方を囲む会【①受けとる力：聴く・メモをする】  
フィールドワーク【②つながる力：仲間とつながる・地域とつながる】  
セト☆ラボセッション【③伝える力：言葉で伝える・プレゼンする】
- ・課題研究「S☆ラボ」（2年）・・・地域課題から世界課題へSDGsで考える  
岡山大学SDGs講演会【④見つける力：新たな価値を見つける】  
企業の方とのSDGsセッション【④見つける力：課題を見つける】  
S☆ラボセッション【⑤考える力⑥より良くなろうとする力：問題を解決する】
- ・2018年度連携先 赤磐市役所、瀬戸内市役所、備前市役所、岡山市東区役所、和気町役場、瀬戸町（光軽金属工業株式会社、麒麟ビール株式会社岡山工場）、赤磐市（テイカ株式会社、みのる産業株式会社、株式会社西山ファーム）  
瀬戸内市（日本オリーブ株式会社）、和気町（北川病院・老人福祉保健施設工スペランすわけ）、備前市（日生地区海運連合・岡山県船主協議会）、岡山大学

岡山県立瀬戸高等学校ホームページ

URL <http://www.seto.okayama-c.ed.jp/>

# 最先端のキャリア教育

—ひたぶるタイム（総合的な学習の時間）—

## 瀬戸高でつきたい6つの力

- ①受けとる力**  
聴く  
メモする  
ノートをとる
- ②伝える力**  
言葉で伝える  
記述する  
プレゼンする
- ③つながる力**  
仲間とつながる  
地域とつながる  
世界とつながる  
考えと考えをつなぐ
- ④考える力**  
論理的思考  
批判的思考  
問題を解決する
- ⑤見つける力**  
課題を見つける  
強味を見つける  
新たな価値を見つける  
発想する
- ⑥より良くなるうとする力**  
向上心を持つ  
学ぶ意欲  
価値を学ぶ



名刺交換練習



役所での聴き取り調査

## 主な目標

未来をよりよく生きるために地域の課題を知り、それが学問や世界の課題にもつながっていることを自分事として問いを見つけて探究する。互いの良さを生かしながら新たな価値を見だし、よりよい社会を実現しようとする。

## 東京修学旅行 企業のSDGsの 取組ヒアリング

【見つける力】  
エッセイ作成  
志望理由書  
新たな価値を見つける

【より良くなるうとする力】  
大学で学ぶ  
学ぶ意欲  
向上心を持つ

【より良くなるうとする力】  
社会に貢献する  
価値を学ぶ  
向上心を持つ

卒業しても  
学び続ける  
意欲

まとめの記述がびっしり！  
セト☆ラボ、S☆ラボによって  
記述力がつきます。自信  
がつかます。



【考える力】  
シンキングツール  
で考える

【考える力】  
セッション  
SDGs 発表会  
課題を解決する

【見つける力】  
フィールドワーク  
課題を見つける

地域から学問へ  
SDGs で考える



マトリクス法で特徴をまとめる



Yチャートで分類して  
深掘りテーマを考える

## 岡大の先生による SDGs 講演会

【見つける力】  
岡大SDGs 講演会  
課題を見つける  
新たな価値を見つめる



講演会後に岡大の先生に  
質問する。新たな課題が  
見つかった。

## S☆ラボ

2年

失敗を乗り越えたあとの高み、これを知ることができたのが、「セト☆ラボ」の活動でした。私たちのチームは、ポスター発表の1週間前に原稿を一から作り直すという大きな挫折を味わいました。ありきたりなものとなってしまっていたので、発表に劇の形式を取り入れ、聞く人にわかりやすかつ楽しんでもらえるものになりました。不安もありましたが、チームメイトと協力して工夫した甲斐もあり、当日は納得のいく発表を楽しんですることができました。この経験から私は「伝える力」に自信が付き、普段の授業でも失敗を恐れず積極的にになりました。  
H29年度1年生 平川 真衣さん（上道中学校出身）

【生徒の声】

## セト☆ラボ

地域課題を知り  
探究する

1年

【伝える力】  
ポスター発表  
言葉で伝える  
プレゼンする



セト☆ラボセッション発表会



セト☆ラボセッション発表会

探究するカリキュラムが  
充実していて楽しい！

【つながる力】  
フィールドワーク  
仲間とつながる  
地域とつながる

【受けとる力】  
講演会・座談会  
聴く  
メモをする



新聞記者講演会

【伝える力】  
自己理解  
書いて伝える

【つながる力】  
絆づくり研修  
仲間とつながる



地域の方から地域の課題を聴く



地域課題をメモする



キャリアコンシェルジュ  
絹田 昌代 先生

私たちと一緒に学びま  
せんか？6つの力を身  
につけましょう。



【持続可能な開発目標（SDGs）】とは  
2015年9月、国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の17の目標。今後15年間、すべての人に普遍的に適用されるこれらの目標に基づき、各国はあらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないことを確保するための取り組みを進めます。



イメージマップで自分を表現する

## セト☆ラボ（地域研究室）

～未来をよりよくするために、地域の課題を知る～

### 1 目的

学びの場を学校から地域に広げ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。地域をよりよくするために自分事としてどのような貢献ができるか考えることができるようになるために、1 年次ではまず、地域の未来の展望や課題を探究的に知ること为目标とする。

### 2 生徒につけさせたい力

- ・ **受けとる力** 聴く力 メモする力 聞き書きの力 ノートをとる
- ・ **伝える力** コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力 言語能力 記述力 ストーリー構成力
- ・ **つながる力** 地域・体験・企業とつながる 仲間とつながる 協働する力 発信する 考えと考えをつなぐ
- ・ **考える力** よりよくするために批判的に考える 論理的に思考する シンキングツール活用能力  
データ分析能力 よりよい判断力
- ・ **見つける力** 自分の強味を見つける 自己肯定感を得る 地域の課題を見つける 進路を見つける  
新たな価値を見つける 発想する
- ・ **より良くなろうとする力** 向上心 学ぼうとする意欲 地域をより良くしようとする志

### 3 学びの概要

- 4 月 25 日（水）①キックオフ 自己理解マップ① ひたぶるノート開始
- 5 月 16 日（水）②セト☆ラボ チーム分け・記述
- 5 月 30 日（水）③伝える力・受けとる力・つながる力講演会
- 6 月 6 日（水）④講演会まとめ 地域の方を囲む会準備 ブース選び ルーブリック 1
- 6 月 13 日（水）⑤**地域の方を囲む会①**（岡山市・赤磐市・瀬戸内市・備前市・和気町の役所の方）
- 6 月 20 日（水）⑥地域の方を囲む会まとめ
- 7 月 11 日（水）⑦マナー講座（名刺）フィールドワーク準備
- 9 月 26 日（水）⑧中間発表及びアカ☆プロブース選び
- 10 月 2 日（火）⑨**地域の方を囲む会②**（6 限）2 年生セト☆ラボ&S☆ラボ中間発表見学（7 限）  
（赤磐市戦略プロジェクト担当者、地元企業 光軽金属、キリンビール、テイカ、  
みのる産業、西山ファーム、日本オリーブ、エスペランスわけ）
- 10 月 3 日（水）⑩中間発表と**地域の方を囲む会②**まとめ
- 10 月 31 日（水）⑪キャリア教育講演会
- 11 月 7 日（水）⑫聞き取りの共有 マトリックス
- 11 月 14 日（水）⑬ポスター構成
- 11 月 21 日（水）⑭探究 フィールドワーク冬
- 11 月 28 日（水）⑮探究 フィールドワーク冬
- 12 月 19 日（水）⑯ポスター完成 フィールドワーク冬
- 12 月 25 日（火）～28 日（金）フィールドワーク冬
- 1 月 9 日（水）⑰ポスター原稿作成
- 1 月 16 日（水）⑱ポスター原稿完成
- 1 月 23 日（水）⑲発表練習
- 1 月 30 日（水）⑳リハーサル
- 2 月 6 日（水）㉑**セト☆フェス S☆ラボ&セト☆ラボ セッション**
- 2 月 13 日（水）㉒まとめの記述
- 2 月 20 日（水）㉓まとめの記述 ルーブリック 2

## S ☆ラボ

～2030 を見通した地域の課題とSDGs をつないで、学問分野から何を考えるか。提案するか。～

### 1 目的


学びの場を学校から社会に広げ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。1 年次は「セト☆ラボ」において、「未来をよりよくするために地域の課題を知る」をテーマにした探究学習を実践してきた。2 年次では、「2030 を見通した地域の課題について、SDGs から何を考えるか。提案できるか」というテーマを設定し、地域の課題が世界の課題とつながっていること、さらに、世界の課題を踏まえた上で地域に何が貢献できるか探究的に活動することを目標とする。

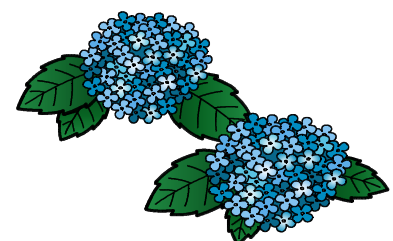
### 2 生徒につけさせたい力

- ・ **受けとる力** メモする力 聴く力 ノートをとる
- ・ **伝える力** コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力 言語能力 記述力
- ・ **つながる力** 地域とつながる体験 大学とつながる体験 仲間とつながる体験 協働する 発信力
- ・ **考える力** よりよくするために批判的に考える 論理的に思考する データから考える
- ・ **見つける力** 地域の課題を見つける 自分の強味を見つける 進路を見つける 発想力
- ・ **より良くなろうとする力** 地域をよりよくしようとする志 向上心 学ぼうとする意欲

### 3 学びの概要


- 4 月 13 日 (金) ①講演 地域・SDGs・学問
- 4 月 17 日 (火) ②キックオフ チーム分け・記述 ルーブリック 1
- 4 月 26 日 (木) ③キックオフ 岡大 SDGs ユネスコ講演会
- 5 月 1 日 (火) ④まとめ・研修準備① 訪問企業選び
- 5 月 29 日 (火) ⑤研修準備②
- 6 月 5 日 (火) ⑥研修準備③
- 6 月 12 日 (火) ⑦自主研修 (修学旅行) 企業訪問
- 6 月 19 日 (火) ⑧研修まとめ 7 行記述・SDGs と学問ブース選び
- 6 月 28 日 (木) ⑨岡大 SDGs 講演会 SDGs と学問 (6, 7 限)
- 7 月 3 日 (火) ⑩まとめ SDGs と学問 7 行記述
- 7 月 17 日 (火) ⑪共有・分析① マトリックス分析
- 9 月 18 日 (火) ⑫共有・分析② マトリックス分析 (仮説・テーマ決定)
- 9 月 25 日 (火) ⑬共有・分析③ S ☆ラボ中間発表準備
- 10 月 2 日 (火) ⑭セト☆ラボ& S ☆ラボ中間発表セッション (7 限)
- 10 月 10 日 (水) ⑮データ・リテラシー データから発想する講演会
- 10 月 30 日 (火) ⑯リスタート チーム・課題確認 S ☆ラボセッション準備① 書籍で研究
- 11 月 13 日 (火) ⑰S ☆ラボセッション準備② 書籍共有 研究分析 7 行記述
- 11 月 20 日 (火) ⑱S ☆ラボセッション準備③ 研究分析 フィールドワーク計画
- 11 月 27 日 (火) ⑲探究④ KP 法パワポ 構成
- 12 月 4 日 (火) ⑳探究⑤ KP 法パワポ (情報教室 パワポ)
- 12 月 11 日 (火) ～13 日 (木) フィールドワーク冬
- 12 月 18 日 (火) ㉑探究⑥ KP 法パワポ (情報教室 パワポ)
- 12 月 25 日 (火) ～28 日 (金) 探究 KP 法パワポ (情報教室 パワポ) フィールドワーク冬
- 1 月 8 日 (火) ㉒S ☆ラボセッション準備⑦ 原稿作成
- 1 月 15 日 (火) ㉓S ☆ラボセッション準備⑧ 原稿完成 (外部から家庭教師)
- 1 月 16 日 (水) ㉔セト☆ラボ ポスター 1 年生にアドバイス
- 1 月 25 日 (金) ㉕S ☆ラボセッション準備⑨
- 1 月 29 日 (火) ㉖S ☆ラボセッション準備⑩ (校長コンペ!) (外部から家庭教師)
- 2 月 5 日 (火) ㉗S ☆ラボセッション準備⑪ リハーサル
- 2 月 6 日 (水) ㉘セト☆フェス SDGs & セト☆ラボ セッション
- 2 月 12 日 (火) ㉙まとめの記述
- 2 月 19 日 (火) ㉚まとめの記述・ルーブリック 2

平成30年度1年生		<b>セト☆ラボ⑥ 6月20日(水)7限</b> 「地域の方を囲む会まとめ」	指導案 岡山県立瀬戸高校
目標	○ルーブリック2「つながる力」 ○ルーブリック5「見つける力」	E地域とつながる H地域の課題を見つける	レベル2 レベル2
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価・方法など・メモ	
<b>【導入】</b> 1 本時の目標を確認する。(3分)	(本時の目標)を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             (本時の目標)              ①先週の「地域の方を囲む会」のメモを共有する。              ②A「地域の未来」              B「地域の課題」              C「対策」              D「考えてみたいこと・疑問」              E「気づいたこと・発見」              F データ(あれば)              ③<b>「いいね!」ふせん</b>を渡す。           </div> (セト☆ラボのテーマ)を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             (セト☆ラボのテーマ)              地域の未来をよりよく変えるために地域の課題を知る。           </div>	準備物 ・ひたぶるノート ・ふせん ・先週の聞き取りシート2枚  ・きちんと机を合わせてチームで活動できているか。	
<b>【展開】</b> 2 前回の「地域の方を囲む会」のまとめをする。(30分)	・「セト☆ラボノート」に聞き取りシートが貼付していることを確認させる。 ・ノートを見ながら、聴き取ったことをA～Fについてふせんにメモを書き出させる。 ・足りない項目について思い出して、もしくは考えてメモを書き足す。 ・はやくできたチームについては、項目ごとに分類して表を作ってみることを促す。	・全員が言葉で伝えることができているか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">             支援が必要なチームへの指導の手立て              ・A～Fの内容についてメモを見ながらどんどん書き出していくことを伝える。           </div>	
3 前時までのチームメンバーのよかったこと・感謝を「いいね!」ふせんで伝える。(5分)	・チームメンバーに、そのメンバーのよかったこと・感謝について具体的にふせんに書き出させ、相手に渡すようにさせる。 ・そのふせんは、本人のノートに貼っておくことを伝える。		
4 次時の予告を聞く。(2分)	・次時は、「文理選択について考える」ことを確認させる。		



**「聞き取りの共有 マトリックス」**

<p>目標</p>	<p>○ルーブリック1「伝える力」 ○ルーブリック3「つながる力」 ○ルーブリック4「考える力」</p>	<p>B コミュニケーション レベル2 D 仲間とつながる レベル2 F シンキングツール活用 レベル2</p>
<p>学習活動</p>	<p>指導・支援上の配慮事項など</p>	<p>評価・方法など・メモ</p>
<p><b>【導入】</b> 1 本時の目標を確認する。(2分)</p>	<p>(本時の目標)を板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(本時の目標) ①チームに自分の得た情報を伝える ③シンキングツールを使って、チームの意見を確認する。</p> </div>	<p>準備物 ・付箋(予備) ・模造紙 ・マジック</p>
<p><b>【展開】</b> 2 考えるべきテーマを確認する。(1分)</p>  <p>3 これまでのひたぶるタイムで作った付箋を持ち寄る。(1分)</p> <p>4 ひたぶるタイム③(地域貢献活動報告会・座談会・中学の先輩のセト☆ラボ)などで「地域の未来」「地域の課題」「具体的対応策」について、メモしたことを共有し、分類する。(15分)</p> <p>5 チームで深掘りしたいテーマについて考える。(15分)</p>	<p>・チームでまとまっていることを確認する。 ・(セト☆ラボのテーマ)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(セト☆ラボのテーマ) 地域の未来をよりよく変えるために地域の課題を知る</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A 「地域の未来」 B 「地域の課題」 C 「対策」 D 「考えてみたいこと・疑問」 E 「気づいたこと・発見」 F データ(あれば)</p> </div> <p>・これまでの学びA～FをKJ法で共有し、分類する。 ①模造紙・マジック・必要ならば付箋を配布する。 ②A～Fについてまだメモしていないことがあれば付箋に書き出す。 ③いままでの付箋をすべて出す。 ④マトリックス(表)かYチャートで分類する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">マトリックス                      Yチャート</p> <p>・KJ法で共有・分類した情報を手がかりに、チームで具体的に考えていきたいテーマを探させる。 ・深掘りテーマ・チーム番号・中学校名・全員のフルネームを記入させる</p>	<p>・きちんとひざを合わせてチームで活動できているか。</p> <p>・報告会や座談会で実践してみたことなどを話させるのもよい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>個別の支援が必要な生徒への指導の手立て ・メモの内容を短い言葉で書いてみることを伝える。 ・メモできていない場合は、思い出したり配布された資料などを参考にしたりするとよいと伝える。</p> </div> <p>・話が止まっても待つ。(考える時間を確保)</p>
<p><b>【まとめ】</b> 6 自分の納得できる自分の意見を記述する。(10分)</p> <p>7 次時の予告を聞く。(1分)</p>	<p>・ノートにここまでの学びで、テーマ「地域の未来をよりよく変えるために地域の課題を知る」について自分が納得したことについて記述させる。 ・7行以上は書かせる。 ・具体的に書くよう指示する。</p> <p>・ポスターの形式を選んで、具体的な探究に入ることを伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ポスターの型 A シンプル B 比較 C 提案</p> </div> 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>個別支援が必要な生徒への指導の手立て ・時間がかかる生徒もいるが、印象的だったことや疑問に思ったことをそのまま具体的に自分の言葉で書くことよいことを伝える ・他者の考えを使って自分の考えをまとめていいということ伝える。</p> </div> <p>・付箋は封筒に保管しておくこと</p>

目標	○ルーブリック3「つながる力」 ○ルーブリック4「考える力」 ○ルーブリック5「見つける力」	D 考えと考えをつなぐ F 課題解決力 H 自分の進路に関わる分野の課題を見つける	レベル4 レベル4 レベル3
学習活動	指導・支援上の配慮事項など		評価・方法など・メモ
<b>【導入】</b> 1 本時の目標を確認する。(1分)	(本時の目標)を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             (本時の目標)              ①準備物①を使ってプレゼンの練習をする              ②原稿を完成させる           </div> S☆ラボのテーマを板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             (S☆ラボのテーマ)              「2030を見通した地域の課題について、SDGsから何を考えるか。提案できるか。」           </div>		準備物 ①A4で12枚ほど ②タイマー ③1センチ磁石15個  ・ひたぶるノート ・机をぴったり合わせる。
<b>【展開】</b> 2 準備物①を使って原稿を考える(23分)  3 AとB、2チーム一組になる。他のプレゼンし、質疑の練習をする(20分)	①準備物①を使って原稿を考えさせる。 ②黒板に貼る位置を確認する。 ③原稿を完成させる。 ④全員が発表できるよう担当箇所を確認させる。  ①Aチームがプレゼン。(4分) ②Bチームは質問。Aチームが答える。(4分) ③Aチームがより良くなるようBチームはアドバイス・批判的な意見を言う。(2分) Aチームは、それをメモする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>プロジェクト学習を成功に導くカギ</b>              ①他者からの評価で何度も原稿を作らせる              ②建設的な批評を受けさせる              ③公共の場所や一般公開で発表させる(強い動機付けになるのです)           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>批評させる際の指導のポイント</b>              ①プレゼンするチームはドキドキする弱い立場にあるから<b>親切に</b>              ②曖昧でなく<b>具体的な</b>アドバイスを              ③プレゼンの<b>改善に役立つ</b>批評を           </div> ④ Bチーム ①～③繰り返す。		
6 次の予定を聞く(1分)	予定を確認する 1月29日(火)リハーサル 当日の動きの確認 2月6日(水)当日 セト☆フェス  ・1月29日(火) 原稿を完成させ、覚えておくこと! 環太平洋大学・元NPO法人の横山先生が家庭教師に来てくださいます。 前回お願いした3チームは進捗状況を伝え、プレゼンしてみよう。		

平成30年度 キャリア教育の全体計画

学校名 岡山県立瀬戸高等学校

保護者・地域の願い
保護者は、生徒一人一人の進路実現に向けての支援や、進路に関する情報提供を期待している。様々な経験を積みながら、社会人としての基盤を作るとともに、充実した高校生活を送ってほしいと願っている。 地域は、豊かな人間性や社会性を身につけた生徒を育て、地域や社会の発展に貢献できる人材を育成して欲しいと願っている。

学校教育目標
心豊かでたくましく、心身ともに健康で、社会の発展に貢献する人間を育成する学校を目指す。 普通科進学校として、生徒・保護者の期待に応え、地域に信頼される学校を目指す。

生徒の実態
生徒は純朴で、学習や部活動等に熱心に取り組み、落ちついた学校生活を送っているが、向学心に乏しく、高い志望を持つ生徒が少ない。

キャリア教育の重点目標
社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な「人間力」を育成し、普通科の生徒として、よりよい進路選択ができるように自己の生き方・在り方を考えさせる。

育成したい力			
人間形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的形形成することができる力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぶとする力	仕事をやる上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

各教科・科目におけるキャリア教育
<p><b>(国語)</b> 言語活動をとおして伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深める。</p> <p><b>(地理)</b> 国際社会に主体的に生きる民主的平和的な国家・社会の一員としての必要な自覚と資質を養う。 <b>(公民)</b> 広い視野に立って現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方・生き方についての自覚を育てる。</p> <p><b>(数学)</b> 数学的活動をとおして、創造性の基礎を養うとともに、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。</p> <p><b>(理科)</b> 自然に対する関心や探求心を高め観察実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事象・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p> <p><b>(保健)</b> 心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。また、健康の保持増進の実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。</p> <p><b>(芸術)</b> 芸術の幅広い活動をとおして、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。</p> <p><b>(外国語)</b> 外国語をとおして、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と、相手の意向の理解力や自分の意向の表現力を養う。</p> <p><b>(家庭)</b> 家族・家庭・社会の意義や関わりについて理解するとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する力と実践的な態度を育てる。</p> <p><b>(情報)</b> 情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。</p>

各学年(年次)ごとの重点目標	
1 学 年	学部・学科の多様さを理解し、自己の適性・興味などから知的関心の対象を広げる。 自分の生き方・在り方を考える姿勢を深め、自己理解のための方法などを知る。また、過去の自分を見つめ直し、今後の自己のあり方を考える。 郷土のすばらしさを理解し、郷土への誇りを高めると同時に郷土を大切にする心・態度を養う。さらに、これからの地域づくりに貢献できる素地を築く。
2 学 年	要点をまとめ、発表する力を養うと同時に、郷土のすばらしさをより一層理解し、郷土への誇りをさらに高めると同時に、郷土を大切にしたい心・態度をより養う。さらに、これからの地域づくりに貢献できる素地を築く。また、社会の中で自分の役割を考え、様々な課題に向き合い、解決するための知識や技術を身に付け、社会で活躍するために必要な「社会人基礎力」を磨く。社会を知ること、働くということ、学ぶということの意義・意味を理解する。 自分のこれまでの取り組みを振り返り、自己理解を深め、自らの在り方を考えながら、今後の取り組みに生かす。
3 学 年	現代の諸課題を具体的に理解し、自ら考え、解決しようとする態度を養う。また、自ら今日の課題を設定し、考察することで問題解決能力を養う。さらに、他人の意見を聞き、討議することで新たな気付きを獲得する。 様々な進路実現方法があることを理解する。同時に、自らの進路について、自己の在り方をあわせて考える。 自己の興味関心等を活かしながら、自己の在り方・生き方を見つめ、望ましい自己実現の方法を考える態度を養う。
進路指導	
1 自己理解及び社会理解を促進させる。 2 生徒自らの力で、個性を生かした進路実現を目指す。	
生徒指導	
1 基本的な生活習慣の確立と人間力の育成を目指す。 2 学校内外における安全な行動や環境を整備する。 3 生徒の主体性の伸長と、行事や部活動を活性化させる。	
家庭・地域との連携	
1 地域貢献活動等 ※インターンシップ ○保育園、老人ホーム、小学校等に出向き、職業を知る活動の一環として就業体験 ○瀬戸町さくらまつり ○瀬戸町もみじまつり ○瀬戸町ふれあい祭 ○赤磐市さくらまつり ○近隣中学校との合同練習会 ○近隣中学校との合同トレーニング ○近隣中学校への学習支援ボランティア ○地域情報活動 2 学校行事へのPTA参加 ○瀬戸高祭(文化の部、体育の部) ○ウォーキング大会 3 近隣自治体等との連携 ○地域の方を囲む会(1年)	

総合的な学習の時間におけるキャリア教育
<p>(1年)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校生としての学習方法の確立</li> <li>2. 進路研究(学部・学科研究、オープンキャンパスレポート)、学習研究、大学訪問等</li> <li>3. 自分の生き方・在り方について(講演等)</li> <li>4. 課題研究(教科横断型・協同学習) セト☆ラボ 地域研究室</li> </ol> <p>(2年)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題研究(教科横断型・協同学習) S☆ラボ SDGs 地域課題とSDGs、学問とのつながり</li> <li>2. キャリア形成(講演等)</li> <li>3. 文章表現力の養成(小論文等)</li> </ol> <p>(3年)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の諸課題に対するテーマ学習</li> <li>2. キャリア形成(人間力を身に付ける。)</li> <li>3. 進路決定に向けた調べ学習(講義内容・シラバス・入試制度・受験科目等)</li> </ol>
特別活動におけるキャリア教育
<p>《LHR活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集団宿泊研修(1年) ○絆づくり研修</li> <li>○社会貢献活動についての学習および計画</li> <li>○瀬戸高祭準備 ○修学旅行準備(2年)</li> <li>○主権者教育LHR ○進路指導LHR</li> </ul> <p>《学校行事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種式典 ○校外学習(学年別)</li> <li>○校長講話 ○生徒代表講話</li> <li>○保健安全講話 ○岡山大学訪問(1年)</li> <li>○修学旅行(2年、3泊4日) SDGsに関連する企業訪問 ※ジョブシャドウイング</li> <li>○ウォーキング大会(1, 2年)</li> </ul> <p>《生徒会活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新入生歓迎会 ○校内球技大会</li> <li>○瀬戸高祭(文化の部、体育の部)</li> </ul>
部活動におけるキャリア教育
各部活動の運営方針に従い、ルールやマナーに対する意識の向上をはじめ人間関係形成力、自己表現力、意志決定力等、総合的な生きる力を身につける。

【参考資料】 ・「高等学校 キャリア教育の手引き」(第2章P72)文部科学省 平成23年11月  
 ・「キャリア教育(生徒に何ができるのだろうか?)」国立教育政策研究所生徒指導研究センター 平成22年2月  
 ・「キャリア教育のすすめ」岡山県教育委員会 平成25年3月